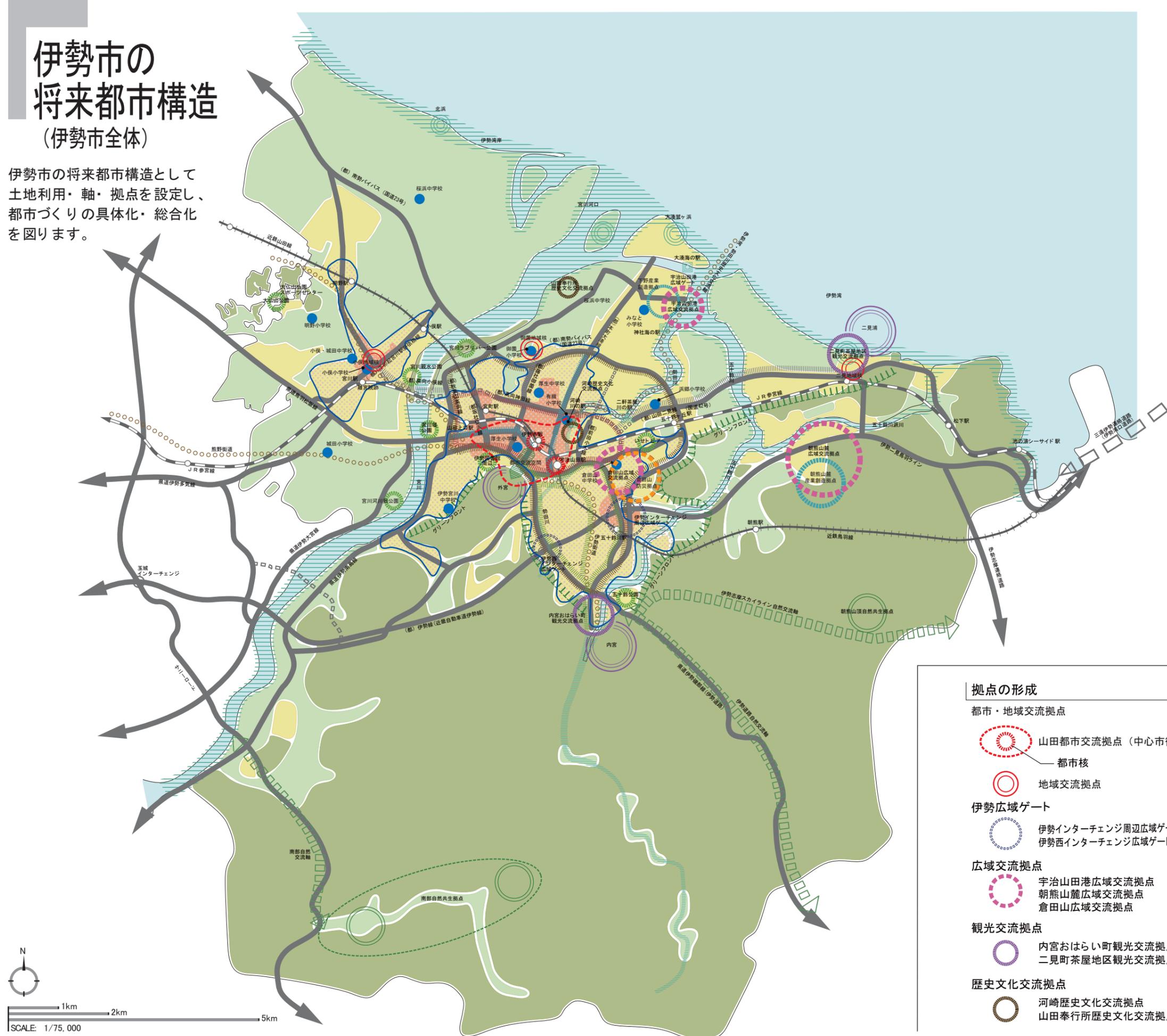


## 第4章 将来都市構造



# 伊勢市の 将来都市構造 (伊勢市全体)

伊勢市の将来都市構造として  
土地利用・軸・拠点を設定し、  
都市づくりの具体化・総合化  
を図ります。



## 凡例

### 土地利用ゾーン

- 都市機能誘導ゾーン
- 市街地ゾーン
- 集落・農地ゾーン
- 自然環境ゾーン
- 居住誘導ゾーン

### 軸の形成

#### 交通軸

- 供用済
- 計画・構想
- 鉄道軸(JR)
- 鉄道軸(近鉄)

#### 都市軸

- 外宮前シンボル軸
- 市街地形成軸
- 内環状軸
- 外環状軸
- 外宮・内宮連絡軸
- 地域交流軸

#### 歴史文化交流軸

- 伊勢湾・勢田川歴史文化交流軸  
伊勢歴史の道

#### 自然交流軸

- 南部自然交流軸
- 伊勢志摩スカイライン自然交流軸
- 伊勢道路自然交流軸

#### 緑地環境軸

- グリーンフロント

#### 河川・海洋環境軸

- 河川(宮川・五十鈴川・勢田川)
- 伊勢湾岸

- 神社海の駅・大湊海の駅
- 河崎川の駅・二軒茶屋川の駅

### 拠点の形成

#### 都市・地域交流拠点

- 山田市交流拠点(中心市街地)
- 都市核
- 地域交流拠点

#### 伊勢広域ゲート

- 伊勢インターチェンジ周辺広域ゲート
- 伊勢西インターチェンジ広域ゲート

#### 広域交流拠点

- 宇治山田港広域交流拠点
- 朝熊山麓広域交流拠点
- 倉田山広域交流拠点

#### 観光交流拠点

- 内宮おはらい町観光交流拠点
- 二見町茶屋地区観光交流拠点

#### 歴史文化交流拠点

- 河崎歴史文化交流拠点
- 山田奉行所歴史文化交流拠点

#### 市民交流拠点

- 市民交流拠点

#### 防災拠点

- 倉田山防災拠点

#### 産業創造拠点

- 朝熊山麓産業創造拠点
- 下野産業創造拠点

#### 公立小中学校

- 公立小学校
- 公立中学校

#### 自然共生拠点

- 南部自然共生拠点
- 朝熊山頂自然共生拠点

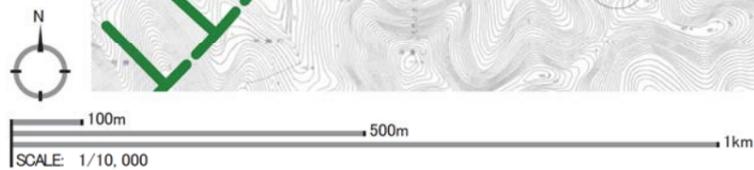
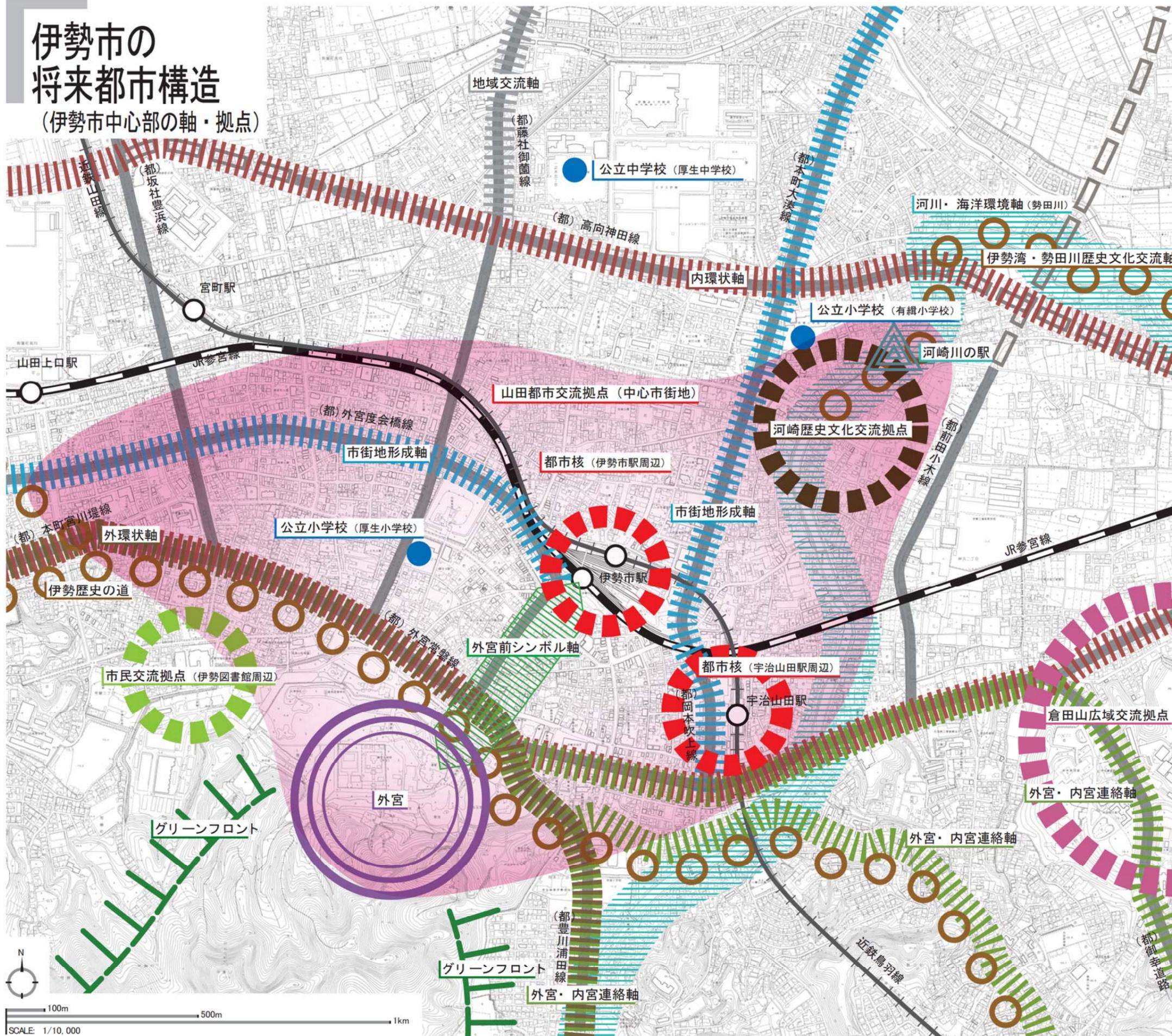
#### 外宮・内宮・二見浦

- 外宮
- 内宮
- 二見浦



1km 2km 5km  
SCALE: 1/75,000

# 伊勢市の 将来都市構造 (伊勢市中心部の軸・拠点)



## 凡例

### 軸の形成

#### 交通軸

- 供用済
- 構想・計画
- 鉄道軸 (JR)
- 鉄道軸 (近鉄)

#### 都市軸

- 外宮前シンボル軸
- 市街地形成軸
- 内環状軸
- 外環状軸
- 外宮・内宮連絡軸
- 地域交流軸

#### 歴史文化交流軸

- 伊勢湾・勢田川歴史文化交流軸
- 伊勢歴史の道

#### 緑地環境軸

- グリーンフロント

#### 河川・海洋環境軸

- 河川 (勢田川)
- 川の駅 (河崎川の駅)

### 拠点の形成

#### 都市交流拠点

- 山田都市交流拠点 (中心市街地)
- 都市核

#### 広域交流拠点

- 倉田山広域交流拠点

#### 歴史文化交流拠点

- 河崎歴史文化交流拠点

#### 市民交流拠点

- 市民交流拠点

#### 公立小中学校

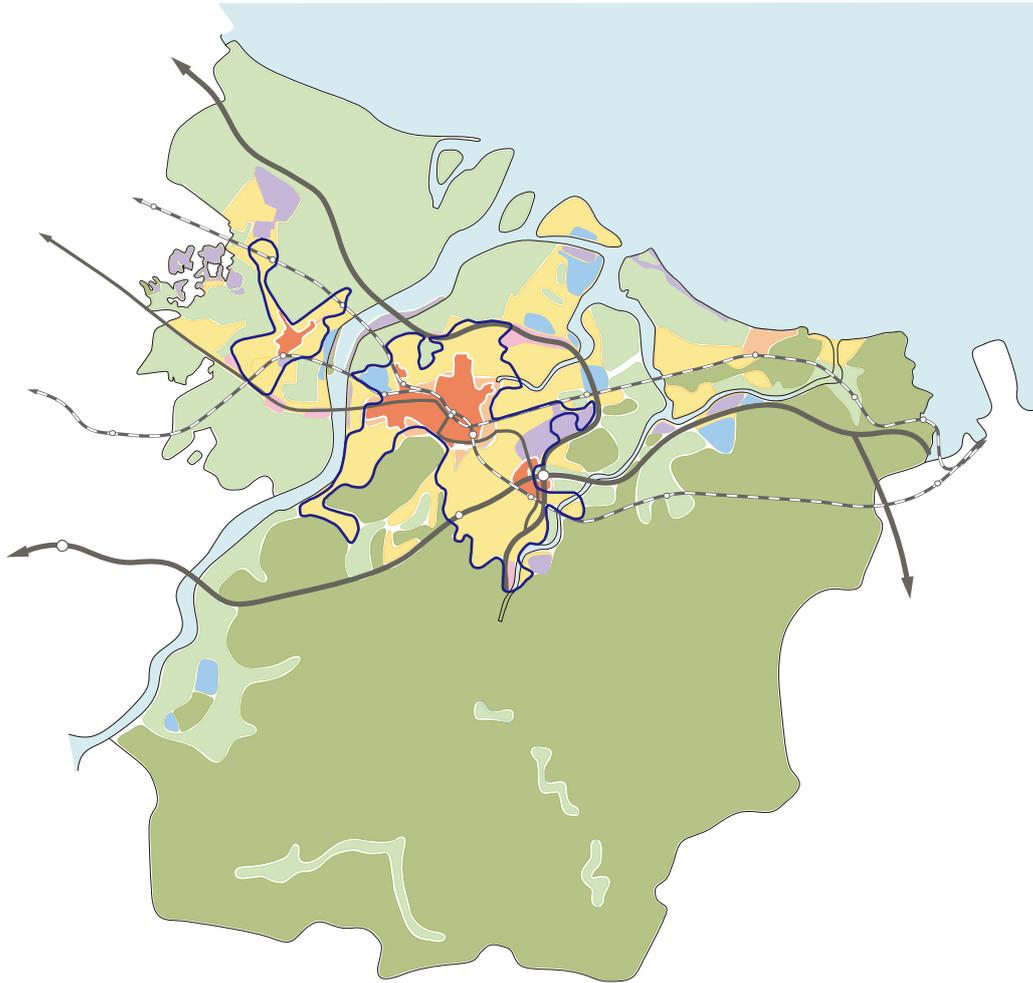
- 公立小学校
- 公立中学校

#### 外宮・内宮・二見浦

- 外宮

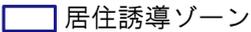
# 1 土地利用ゾーン

将来都市構造において、以下の土地利用を設定し、都市づくりの具体化を図ります。



## 凡例

(土地利用ゾーン)		(土地利用エリア)	
都市機能誘導ゾーン	-----		都市機能誘導エリア
市街地ゾーン	-----		まちなか複合エリア
			住居系エリア
			周辺商業業務系エリア
			工業業務系エリア
集落・農地ゾーン	-----		公共・公益エリア
			集落・農地エリア
自然環境ゾーン	-----		自然環境エリア

 居住誘導ゾーン

※都市機能誘導ゾーン、市街地ゾーンの一部に設定

# (1) 都市機能誘導ゾーン

○災害リスクの低いゾーンで、広域生活圏の中心、交流の場、密度の高い商業業務地の形成を方向づけます。

○ゾーン全体を都市機能誘導エリアとし、地区特性に応じた計画的な土地利用を図ります。

実現する「都市づくりの目標」

交流  
交歓

歴史  
文化

自然  
風土

活力  
成長

日常  
生活

安全  
安心

## 都市機能誘導エリア

○伊勢市の魅力を向上させるために、多くの市民の生活利便性を確保し、医療・福祉、商業といった都市機能の誘導を行うとともに、多くの市民の生活利便性の向上を図ります。

### ■伊勢市駅・宇治山田駅周辺

伊勢志摩地域の玄関口としての都市機能の集積、市街地としての活性化、まちなか居住の確保、歴史的資源の保全が必要です。

このため、商業・業務施設の集積を進めるとともに、行政機能の強化、住宅整備等を複合的に行うため土地の高度利用を促進します。

また、外宮前という特性を活かした交流機能の強化を図りつつ、歴史的まちなみの保全などを考慮しながら、観光交流サービス機能の維持・拡充を図り、更なる賑わいを創出し、魅力を向上させます。



伊勢市駅周辺



宇治山田駅周辺

### ■宮町・山田上り駅周辺

中心市街地の活性化を図るとともに都市機能を維持し、生活サービスの充実を図ることが必要です。

このため、医療、子育て支援、文化、商業施設を維持・拡充するとともに各商店街の低・未利用地や空き店舗や空閑地の住宅などの利用促進、空き家や跡地などの有効利用を図り、住環境を阻害する土地利用の抑制などの対策を進めます。



宮町・山田上り駅周辺

### ■宮川駅周辺

宅地開発による人口増加に対応するため行政・生活サービス向上を促進するとともに、伊勢の中心市街地とのアクセス強化を図る必要があります。このため、暮らしやすさを支えるための公共交通や商業、福祉、子育て支援施設、行政機能などの都市機能の維持・拡充を図りつつ基幹道路の整備を推進し、中心市街地と連携した土地利用を図ります。



宮川駅周辺

### ■五十鈴川駅周辺

基幹的な医療施設及び大規模商業施設の立地などを考慮し、都市機能を維持するとともに広域的な生活サービスの充実を図ります。



五十鈴川駅周辺

## (2) 市街地ゾーン

- 無秩序な宅地化を抑制しつつ、適正な用途の配置を方向づけます。
- 土地利用の特性から、まちなか複合エリア、住居系エリア、周辺商業業務系エリア、工業業務系エリア及び公共・公益エリアの5つのエリアを設定し、計画的な土地利用を進めます。

### まちなか複合エリア

実現する「都市づくりの目標」



- 生活利便性の高い居住の場や住宅と調和した都市型産業の場としての充実を図ります。

#### ■複合市街地

地区の利便性を活かした商業・業務機能、各種サービス機能は、居住との共存を図りながらその維持を目指します。また、二見地区では、歴史的まちなみの継承や地区特性を活かした商業・サービス施設の立地などを考慮して、建物の用途や形態の規制・誘導を図ります。



二見町茶屋地区

### 住居系エリア

実現する「都市づくりの目標」



- 戸建て住宅を中心とする市街地や丘陵地の住宅団地などの環境の維持・向上を図ります。

#### ■住宅地

都市機能誘導ゾーンの周辺や南部の丘陵地などに広がる住宅地では、市民が安全で快適に暮らせる住環境の形成を進めます。このため、住環境を阻害するような建物の建築の防止、住宅の密集防止や良好なまちなみの維持、住居専用地域での高齢化に対応した身近な生活サービス施設の立地誘導など、地区特性に応じた土地利用を進めます。



桜木町



二見町光の街

## 周辺商業業務系エリア

○都市機能誘導エリアやまちなか複合エリアのバランスや景観に配慮しつつ、広域的な幹線道路沿道などの立地条件を活かした土地利用を誘導します。

### ■沿道型商業地

モータリゼーションの進展により、国道 23 号、県道鳥羽松阪線沿道では、商業系施設や工業系施設などの多様な施設が立地し、用途の混在やまちなみの混乱が見受けられます。また、大規模商業施設の郊外移転により、中心部が空洞化するなど、都市全体の土地利用の不均衡も進んでいます。今後は、郊外部での無秩序な商業地拡大と用途混在の防止を基本としながら、地区ごとの特性に応じた土地利用の誘導を図ります。



県道鳥羽松阪線

## 工業業務系エリア

○交通条件やまとまった土地資源を活かした工業・流通業務地を形成します。

### ■工業・流通業務地

工業流通業務は、都市圏の活力と成長を促す観点から活性化が望まれます。このため、交通条件や土地資源に恵まれた北部の竹ヶ鼻町、下野町などや通町の国道 23 号・42 号周辺、南部丘陵、朝熊山麓などで工業・流通業務地の形成を促進します。



下野工場団地

## 公共・公益エリア

○公共・公益施設を中心とする良好な市街地の形成や環境の維持を図ります。

### ■公共・公益施設

倉田山公園周辺や五十鈴公園、朝熊山麓公園、大仏山公園などには教育・文化・スポーツ施設が立地しており、市民の交流や広域的な交流拠点となっています。これらの地区は、今後とも公共・公益機能の維持・充実を図るとともに、周囲の自然などと一体になった良好な環境の形成を進めます。



倉田山公園周辺

### (3) 集落・農地ゾーン

- 農業・漁業集落と水田・畑・果樹園などの農地を維持し、郊外部の落ち着いた住環境の形成を方向づけます。
- ゾーン全体を集落・農地エリアとし、計画的な土地利用を進めます。

実現する「都市づくりの目標」



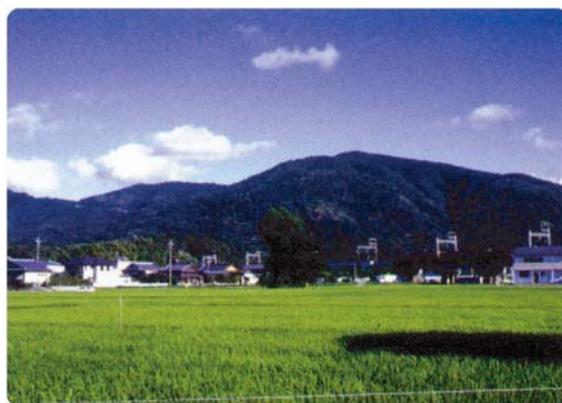
#### 集落・農地エリア

- 集落については周辺の農地などと融合した落ち着いた環境の形成を図ります。
- 集落と市街地の間に広がる水田、畑、果樹園は、生産の場、のどかな景観形成の資源として保全を図ります。

##### ■既存集落

豊浜、北浜地域などには農業や漁業を基本とした集落が広く分布し、それぞれがまとまった生活空間を構成しています。今後とも落ち着きのある生活の場として位置づけ、地区の状況に応じた生活道路などの身近な環境の向上を図ります。

また、新たな宅地化の影響がある地域では、適切な建物用途や形態の規制・誘導など土地利用の対策を進めます。



楠部町の田園

##### ■農地

農地の大部分は、「農業振興地域の整備に関する法律」に基づく「農用地区域」に指定され、適正に保全されていますが、指定されていない地区では宅地化が進み、水田や果樹園などの景観が消失しています。このため、良好な農地を保全します。



御園町の田園

## (4) 自然環境ゾーン

○豊かな自然環境を保全するとともに自然に親しむ場として方向づけます。

実現する「都市づくりの目標」

交流  
交歓

歴史  
文化

自然  
風土

活力  
成長

日常  
生活

安全  
安心

### 自然環境エリア

- 神宮の森を中心に緑豊かな山林を保全し、伊勢らしい豊かな自然景観を守ります。
- 河口部を中心に自然環境を保全し、伊勢湾を望む豊かな水辺空間を形成します。
- 丘陵地及び水辺のレクリエーション空間の充実を図ります。

#### ■山林

神宮の森をはじめとする市域南部に広がる山林は、伊勢市の自然風土の源となるもので、緑豊かな自然景観や五十鈴川・勢田川などの河川を育んでいます。今後もこれらの山林は面的に保全を図ります。また、市街地に隣接する山林などで都市的な開発が行われる際には、緑の保全や周囲の自然景観と調和するよう誘導します。



五十鈴川

#### ■河口

宮川・外城田川などの河口部に広がる中州や干潟には多様な生物が生息し、伊勢湾を望んで伸びやかな自然景観が広がっています。今後もこれら河口部の環境保全を図り、豊かな水辺空間を形成します。



宮川ラブリバー公園

#### ■レクリエーション空間

緑や水辺の保全を図る一方で、自然の豊かさや魅力に触れ合えるような場づくり、空間づくりも望まれます。このため、南部の丘陵地や宮川河岸などを自然と触れ合うアウトドア・レクリエーションの空間として充実を図ります。また、丘陵地からの良好な眺望の確保を促進します。

## 2 軸の形成

将来都市構造において、以下の軸を設定し、都市づくりの具体化を図ります。



### 凡例

#### 交通軸

——	供用済	} 高規格・広域幹線道路軸
□□□□	構想	
——	供用済	} 伊勢都市圏幹線道路軸
□□□□□□	計画・構想	
≡○≡	鉄道軸	

#### 歴史文化交流軸

○○○○	伊勢湾・勢田川歴史文化交流軸 伊勢歴史の道
------	--------------------------

#### 自然交流軸

□□□□	南部自然交流軸 伊勢志摩スカイライン自然交流軸 伊勢道路自然交流軸
------	---

#### 緑地環境軸

↓↓↓↓↓↓↓	グリーンフロント
---------	----------

#### 河川・海洋環境軸

≡	河川（宮川・五十鈴川・勢田川） 伊勢湾岸
△	河崎川の駅・二軒茶屋川の駅
□	神社海の駅・大湊海の駅

#### 都市軸

	外宮前シンボル軸
	市街地形成軸
	内環状軸
	外環状軸
	外宮・内宮連絡軸
	地域交流軸

# (1) 交通軸

○人的交流や物流の基盤となり、伊勢市の活力と成長を生み出す交通軸を体系的に整備し、交通の円滑化を図ります。

実現する「都市づくりの目標」

交流 交歓	歴史 文化	自然 風土	活力 成長	日常 生活	安全 安心
----------	----------	----------	----------	----------	----------

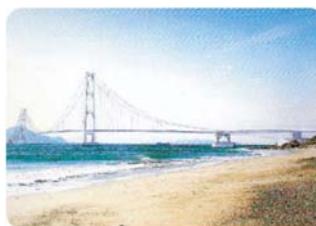
## 高規格・広域幹線道路軸 ▬ □□□□

○国土レベルでの交通アクセスや都市圏間の相互連携を強化し、広域的な交流や物流の基盤となる幹線道路の充実を図ります。

- (都) 伊勢線 (近畿自動車道伊勢線)
- 伊勢二見鳥羽ライン
- 伊勢志摩連絡道路
- 三遠伊勢連絡道路 (伊勢湾口道路)
- 東海南海連絡道
- (都) 南勢バイパス (国道 23 号)
- (都) 山田二見線 (国道 42 号)



(都) 伊勢線



実現する「都市づくりの目標」

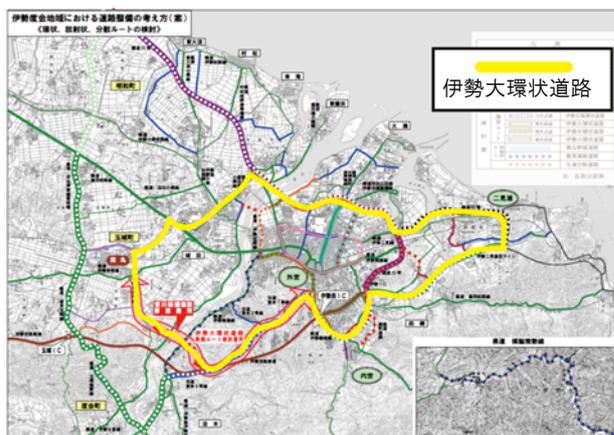
交流 交歓	歴史 文化	自然 風土	活力 成長	日常 生活	安全 安心
----------	----------	----------	----------	----------	----------

## 伊勢都市圏幹線道路軸 ▬ □□□□□□

- 近隣市町との交流・連携や観光交通への対応策として、伊勢都市圏の骨格となる環状道路としての整備を進めます。
- 都市圏環状道路として主要な県道を位置づけ、伊勢志摩地域の近隣市町との交流・連携の基盤として、道路ネットワーク全体を考慮した整備を進めます。
- 市域幹線道路として主要な市道を位置づけ、都市圏幹線道路との連携や市街地の交通の効率化を図り、都市機能を強化します。

- 伊勢大環状道路
- 都市圏幹線道路
- 市域内幹線道路

※宮川架橋建設推進協議会は 2009(平成 21)年 7 月、伊勢市、玉城町及び度会町の連携・協力のもと、健全な地域の発展に向けて、宮川架橋の建設促進を図ることを目的に設立されました。



出所：宮川架橋建設推進協議会※資料より

## 鉄道軸



実現する「都市づくりの目標」

交流  
交歓

歴史  
文化

自然  
風土

活力  
成長

日常  
生活

安全  
安心

- 伊勢志摩地域の日常生活や広域観光を支える基幹的交通軸の充実を図ります。
- 地域核と都市核を連絡する日常の足として充実を図ります。

- 近鉄山田線・近鉄鳥羽線（近畿日本鉄道）
- JR 参宮線（東海旅客鉄道）



伊勢市駅



宇治山田駅

## (2) 都市軸

○市街地の主要な幹線道路を中心として、多様な都市機能や優れた都市空間を備えた都市軸を位置づけ、適正な土地利用や良好なまちなみの誘導を進めるとともに、わかりやすい市街地の骨格を形成します。特に中心部へのアクセス向上の観点から市街地の骨格をなす都市軸と、伊勢市の都市構造の核である外宮・内宮の連絡に係る都市軸の位置づけを強化します。

### 外宮前シンボル軸



実現する「都市づくりの目標」



- 伊勢市駅周辺と外宮を連絡する都市計画道路外宮度会橋線などを中心として、商業、業務、広域交流などの都市機能を集積するとともに、玄関口にふさわしいまちなみを備えた外宮前のシンボリックな骨格の形成を図ります。
- 外宮参道を中心として、地元の人や観光客がまちを散策できるような歩行者空間の整備や景観形成を行います。



(都) 外宮度会橋線 (県道鳥羽松阪線)

- (都) 外宮度会橋線 (県道鳥羽松阪線)
- 外宮参道

### 市街地形成軸



実現する「都市づくりの目標」



- 外環状軸と市中心部を連絡する都市計画道路外宮度会橋線・本町大湊線沿道においては、土地利用方針に基づく都市機能を誘導します。また、市中心部における商業・業務などの都市機能の立地を支えます。
- 内環状軸とともに、市街地の都市機能強化とわかりやすい骨格の形成を図ります。

- (都) 外宮度会橋線 (県道鳥羽松阪線)
- (都) 本町大湊線 (八間道路)
- (都) 岡本吹上線



(都) 外宮度会橋線 (県道鳥羽松阪線)



(都) 本町大湊線 (八間道路)



(都) 岡本吹上線

## 内環状軸

○市街地の交通の効率化を図る環状道路（都市計画道路外宮常磐線・本町宮川堤線・秋葉山高向線・高向神田線・前田黒瀬線・御幸道路）を中心として、商業・業務などの都市機能が立地する沿道整備を進め、市街地の都市機能強化とわかりやすい骨格の形成を図ります。

- （都）外宮常磐線
- （都）本町宮川堤線
- （都）秋葉山高向線
- （都）高向神田線
- （都）前田黒瀬線
- （都）御幸道路



（都）高向神田線

## 外環状軸

○市街地周辺の交通の効率化を図る環状道路（都市計画道路外宮常磐線・本町宮川堤線・秋葉山高向線・坂社豊浜線・南勢バイパス・豊川浦田線）沿道においては、周辺の土地利用方針に基づき適切な土地利用を進め、市街地周辺における分かりやすい骨格の形成を図ります。

- （都）外宮常磐線
- （都）本町宮川堤線
- （都）秋葉山高向線
- （都）坂社豊浜線
- （都）南勢バイパス（国道23号）
- （都）豊川浦田線



（都）秋葉山高向線

## 外宮・内宮連絡軸

- 外宮と内宮を結ぶ都市軸（都市計画道路豊川浦田線・御幸道路及び古市街道）では、観光客に向けたサービス機能や周辺住宅地向けの生活サービス機能などの充実を図るとともに、伊勢らしい歴史文化を感じさせ、背後の緑と調和した景観形成を図ります。
- 沿道に四季を感じさせる緑化を進めます。
- 用途地域等地域地区の見直し、景観計画に基づく地区指定などの具体的手法により、沿道の景観形成を進めます。
- 自然・歴史・文化等の施設を歩行者空間で連結するタウン・トレイル整備を進めます。

- （都）豊川浦田線
- （都）御幸道路
- 古市街道



（都）豊川浦田線



（都）御幸道路



古市街道

## 地域交流軸

- 内環状軸や外環状軸と連携し、本庁及び各総合支所を結び地域間交流を図ります。

- （都）山田二見線
- （都）藤社御蔭線
- （都）高向小俣線



（都）山田二見線



（都）藤社御蔭線



（都）高向小俣線

### (3) 歴史文化交流軸

○外宮や内宮とともに発達した歴史的な文化・交流の骨格を現代に呼び戻し、周辺の拠点地区などと連携して伊勢市の歴史・文化とのふれあいを高める軸を形成します。

実現する「都市づくりの目標」

#### 伊勢湾・勢田川歴史文化交流軸

○○○○

交流  
交歓

歴史  
文化

自然  
風土

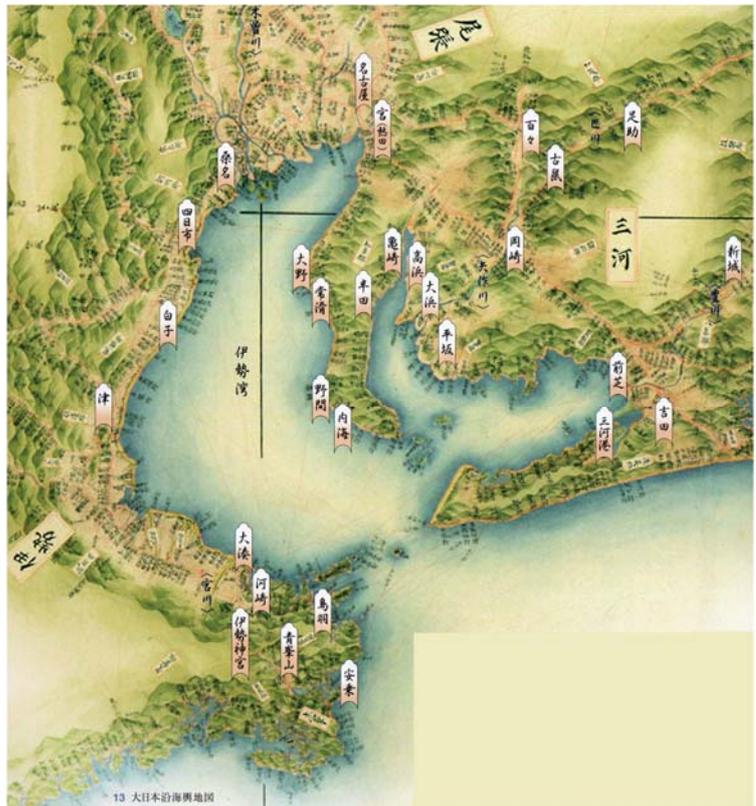
活力  
成長

日常  
生活

安全  
安心

- 海の玄関口である宇治山田港から、かつての舟参宮ルートを生かし、環伊勢湾各地域との交流を深めます。また、水運を基盤に栄えた勢田川に沿って、歴史的まちなみや水上交通・船着場などを備えた親水性豊かな空間づくりを進めます。
- 伊勢湾・三河湾・遠州灘などのマリーナなどと連携したクルージングネットワークの確立を目指します。
- 河川敷を活用し、並木の植栽や花の栽培を行い、花と緑のある水辺空間づくりを進めます。
- 勢田川沿いを散策できるような歩行者空間の整備を進めます。
- 伊勢河崎商人館を拠点として、市民やNPOによるまちづくり活動を支援します。
- 「海の駅・川の駅」を活用し、木造船による交流を推進します。

- 水上交通
- クルージングネットワーク
- 勢田川（宇治山田港湾）
- 海の駅・川の駅



出典：宇治山田港湾整備（みなとまちづくり）に向けての提言

かわまちづくり（平成 22 年 5 月 22 日国土交通省認定）

勢田川において、階段護岸等を整備することで親水性を図るとともに、水辺に親しむフットパスを整備することにより、歴史情緒溢れるまちなみと一体となった利用を推進する。

出所：宮川総合水系環境整備事業  
（直轄、伊勢市）勢田川部分抜粋



勢田川フットパスイメージ

## 伊勢歴史の道

○○○○



○かつての参宮ルート（伊勢街道・熊野街道）を中心に、伊勢の歴史・文化資源をつなぐとともに、それらの資源に親しみながら散策、観光などを楽しむ軸を形成します。

○三重県の推進する「歴史街道計画」との連携を図ります。

○街道沿いの歴史的資源の保存、案内サインや休憩スペースなどの整備を行います。

○沿道住民によるもてなしや情報発信、歴史文化の学習会やイベントの開催などを促進します。

■伊勢街道

■熊野街道



伊勢街道桜の渡し



伊勢街道のまちなみ

## (4) 自然交流軸

○自然・レクリエーション空間と連携し、自然と共生した交流を促進する軸を形成します。

### 南部自然交流軸

□□□□

実現する「都市づくりの目標」



- 「南部自然共生拠点」へのアプローチ道路（県道玉城南勢線）にふさわしい沿道景観を備え、南部地域のシンボルとなる軸を形成します。
- 自然公園法に基づき、沿道の自然景観を保全します。

■県道玉城南勢線（サニーロード）



県道玉城南勢線（サニーロード）

### 伊勢志摩スカイライン自然交流軸

□□□□

実現する「都市づくりの目標」



- 伊勢志摩国立公園にふさわしい沿道景観を備え、伊勢市の自然交流のシンボルとなる軸を形成します。
- 自然公園法に基づき、沿道の自然景観を保全します。

■伊勢志摩スカイライン



伊勢志摩スカイライン

### 伊勢道路自然交流軸

□□□□

実現する「都市づくりの目標」



- 伊勢志摩国立公園にふさわしい沿道景観を備え、伊勢市の自然交流のシンボルとなる軸を形成します。
- 自然公園法に基づき、沿道の自然景観を保全します。

■県道伊勢磯部線（伊勢道路）



県道伊勢磯部線（伊勢道路）

## (5) 緑地環境軸

○市街地と背後の山林とが接する連続的な空間を環境軸として都市構造に位置づけ、伊勢らしい景観形成を進めます。

実現する「都市づくりの目標」

グリーンフロント



交流  
交歓

歴史  
文化

**自然  
風土**

活力  
成長

日常  
生活

安全  
安心

○都市的土地利用と山林とが融合する市街地拡大の限界線として、連続性のある緑豊かな都市空間を形成します。

○用途地域等地域地区の見直し、景観計画に基づき、境界域での緑の保全と創出を図ります。

■三郷山～外宮～内宮～若之山～貝吹山～音無山



三郷山～外宮

## (6) 河川・海洋環境軸

○都市内を流れ、地域の形成にも深く関わってきた主要河川と、都市圏の北部に連なる伊勢湾の沿岸域を環境軸として都市構造に位置づけ、水辺の特性に応じて、安全面に配慮しつつ、自然との共生や豊かなアメニティ空間の形成などを進めます。

実現する「都市づくりの目標」

### 河川



○主要河川と周辺の自然資源や、歴史文化資源などが、一体となった豊かな環境軸を形成します。  
○水質の改善、自然環境や自然景観の保全を図るとともに、それぞれの河川の特性を生かした個性豊かなアメニティ空間を形成します。

■宮川：全国でも有数の清流として知られるとともに、広々とした河川空間を備え、周辺の歴史、自然などを生かしたレクリエーション空間を提供する、都市圏のシンボリックな水辺として位置づけます。

- ・宮川ラブリバー公園
- ・宮川親水公園
- ・宮川堤公園
- ・宮川河川敷公園



宮川ラブリバー公園

■五十鈴川：内宮周辺のたたずまいやその上下流の落ち着いたある景観を基本に、市民や観光客の憩いの場を提供する水辺として位置づけます。



五十鈴川

■勢田川：市街地と密接につながり、河崎・神久などのまちなみや親水空間、散策ルートなどを備え、都市的アメニティの中心となる水辺として位置づけます。

- ・河崎川の駅
- ・二軒茶屋川の駅



勢田川（河崎）

実現する「都市づくりの目標」

### 伊勢湾岸



○美しい海岸や海洋生物の生息などの豊かな自然環境を基本として、レクリエーションや漁業など自然と共生した利用を進める水辺空間を形成します。  
○安全面に配慮し、堤防の構造強化を進めるとともに、海浜の植生、干潟、海岸景観などの保全と復元、海岸保全活動の支援などを進めます。

- ・神社海の駅
- ・北浜
- ・大湊海の駅
- ・大湊鷺ヶ浜
- ・宮川河口
- ・二見浦



北浜



宮川河口



大湊鷺ヶ浜

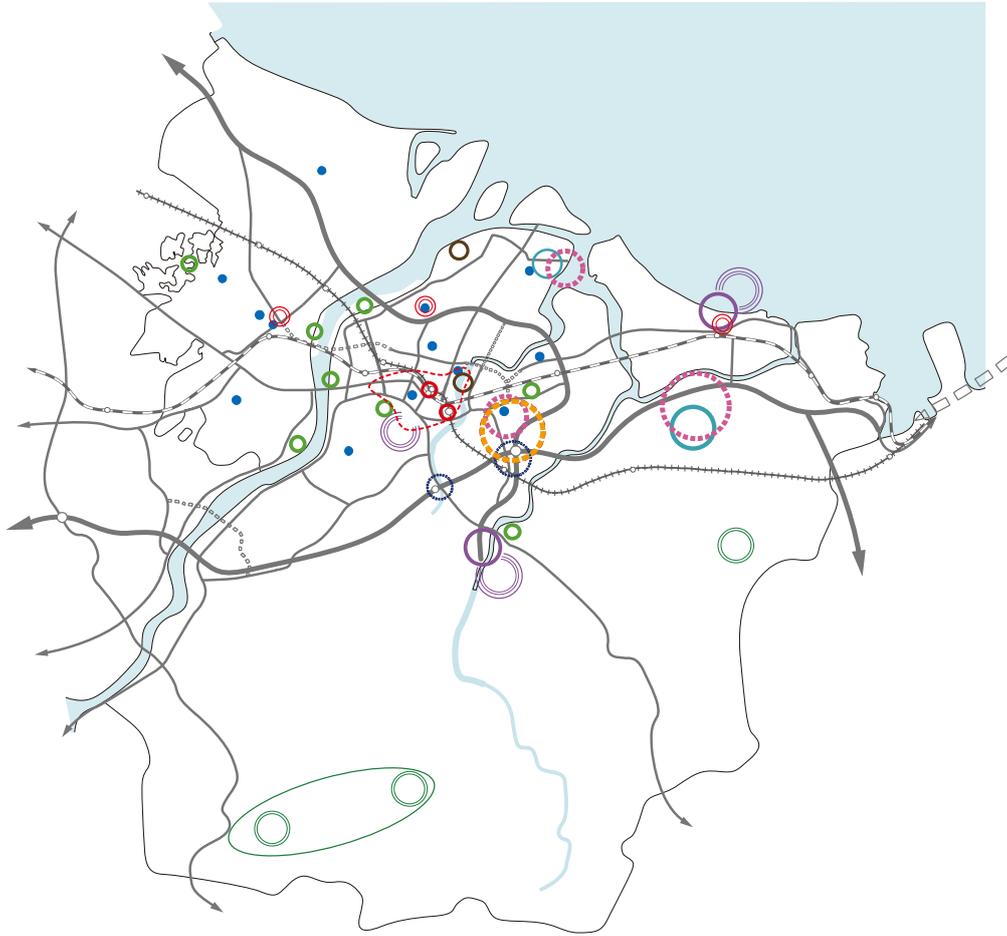


二見浦



### 3 拠点の形成

将来都市構造において、以下の拠点を設定し、都市づくりの具体化を図ります。



凡例

#### 都市・地域交流拠点

-  山田都市交流拠点（中心市街地）
-  都市核
-  地域交流拠点

#### 伊勢広域ゲート

-  伊勢インターチェンジ周辺広域ゲート
-  伊勢西インターチェンジ広域ゲート

#### 広域交流拠点

-  宇治山田港広域交流地点
-  朝熊山麓広域交流地点
-  倉田山広域交流地点

#### 観光交流拠点

-  内宮おほらい町観光交流拠点
-  二見町茶屋地区観光交流拠点

#### 歴史文化交流拠点

-  河崎歴史文化交流拠点
-  山田奉行所歴史文化交流拠点

#### 市民交流拠点

-  市民交流拠点

#### 防災拠点

-  倉田山防災拠点

#### 産業創造拠点

-  朝熊山麓産業創造拠点
-  下野産業創造拠点

#### 公立小中学校

-  公立小学校
-  公立中学校

#### 自然共生拠点

-  南部自然共生拠点
-  朝熊山頂自然共生拠点

#### 外宮・内宮・二見浦

-  外宮
-  内宮
-  二見浦

# (1) 都市・地域交流拠点

○伊勢志摩地域の核であり、伊勢市全体の核である「都市交流拠点（中心市街地）」と、地域の行政・生活サービスの拠点である「地域交流拠点」を位置づけ、都市機能の集約や賑わいの創出など活性化を図ります。

## 山田都市交流拠点（中心市街地）



実現する「都市づくりの目標」



○外宮の鳥居前町である山田一帯を、新たな活力を生み出す伊勢市全体の都市活動の中心拠点として位置づけます。

○軸や拠点、さらに商業・業務、行政、観光、公共交通の結節点としての機能など、多様な都市機能を集約するとともに、市民や来訪者による交流を促進し賑わいを創出するなど、中心市街地の活性化を図ります。

○道路などの都市基盤の整備を推進し、市の中心としての機能向上を図ります。また、民間資本が参入しやすい環境づくりを進めます。

- 都市核（伊勢市駅・宇治山田駅周辺）
- 外宮前シンボル軸
- 河崎歴史文化交流拠点
- 外宮



外宮参道（外宮前シンボル軸）

## 都市核（山田都市交流拠点内）

○中心市街地である山田都市交流拠点の中でも、特に伊勢市の玄関口であり公共交通の拠点として伊勢市駅周辺、宇治山田駅周辺を、高密度な商業・業務、文化、観光サービスなどの都市活動の核として位置づけます。

- 伊勢市駅周辺
- 宇治山田駅周辺



伊勢市駅



宇治山田駅

## 地域交流拠点



- 市町村合併前の旧町村の中心であった二見・小俣及び御菌総合支所とその周辺を地域交流拠点として位置づけます。
- 地域での暮らしやすさを支える拠点としての機能を維持し、地域に適した行政・生活サービスの実現を図ります。

- 二見総合支所・二見生涯学習センター周辺
- 小俣総合支所・小俣図書館周辺
- 御菌総合支所・ハートプラザみその周辺



二見総合支所



小俣総合支所



御菌総合支所

## 【伊勢市中心市街地活性化基本計画】

近年、中心市街地においては、大規模小売店舗の郊外流出や、長引く全国的な経済情勢の低迷など、さまざまな要因が重なり、かつての賑わいが喪失している状況です。このことから、1999（平成 11）年に「伊勢市中心市街地商業等活性化基本計画」（以下「旧法計画」）を策定し、中心市街地の活性化に向けて取り組んできましたが、計画策定から 15 年余りが経過し、中心市街地を取り巻く環境も大きく変化しています。そこで、現況に即した新たな計画として、2016（平成 28）年 3 月に「伊勢市中心市街地活性化基本計画」を策定しました。

中心市街地活性化の基本方針を踏まえ、都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進するため、旧法計画の区域をベースとして、計画区域を設定しました。新計画区域は「伊勢市駅前・外宮参道周辺」、「宇治山田駅周辺」、「中心商店街周辺」、「伊勢市駅北口周辺」、「河崎周辺」の 5 つの特徴のあるエリアから成り立ち、エリアの特性をふまえたテーマを個々に設定し、中心市街地全体に波及効果を及ぼすような手法により、中心市街地の活性化につなげていきます。

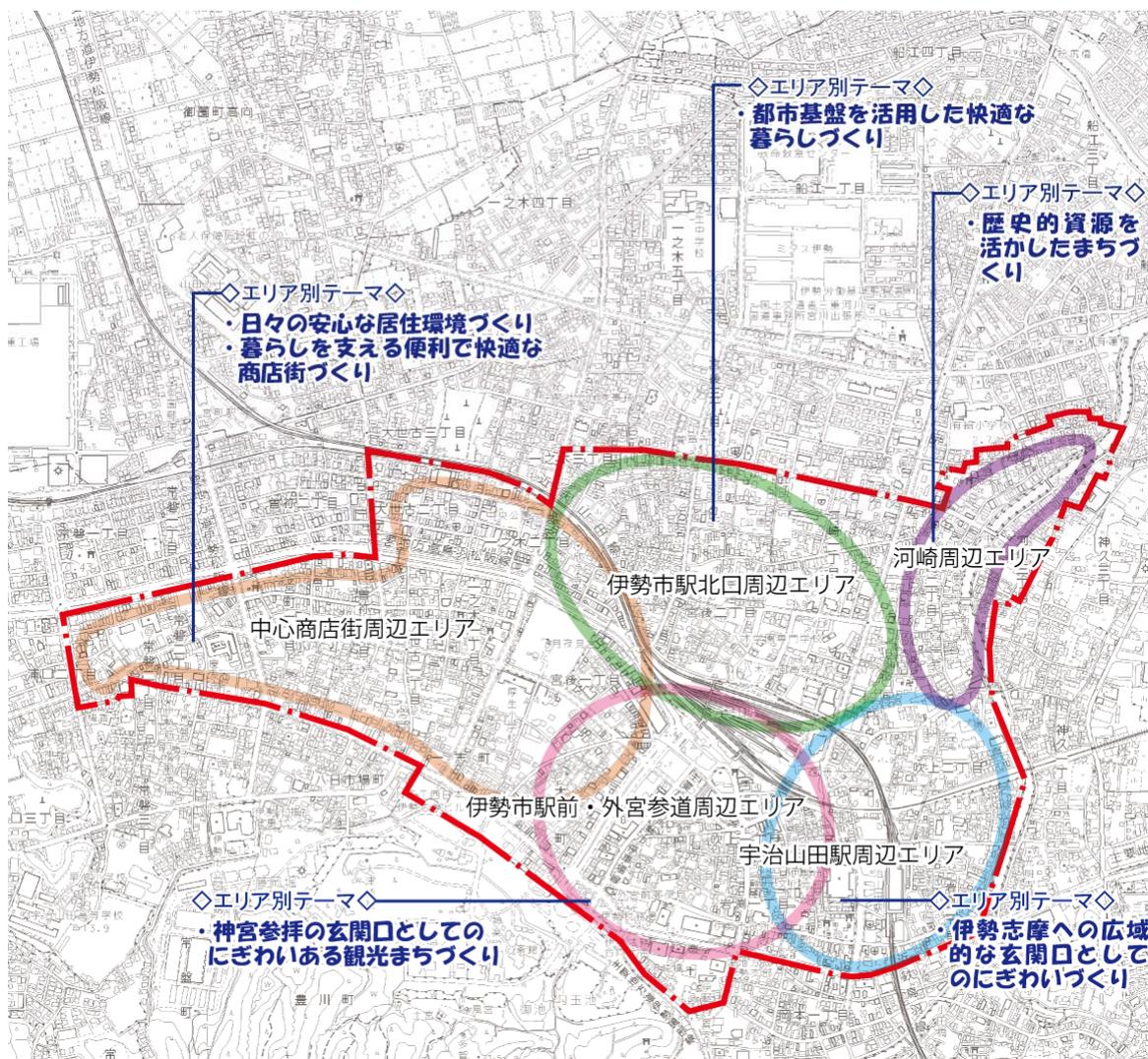


図 中心市街地活性化の区域と 5 つのエリア

## (2) 伊勢広域ゲート

○伊勢の自動車交通の玄関口を伊勢広域ゲートとして位置づけ、良好な景観形成を図ります。

### 伊勢インターチェンジ周辺広域ゲート



実現する「都市づくりの目標」

交流  
交歓

歴史  
文化

自然  
風土

活力  
成長

日常  
生活

安全  
安心

○広域幹線道路（近畿自動車道伊勢線・国道 23 号）の結節性を活かし、広域的な視点から自動車交通の玄関口となるインターチェンジ周辺において、良好な景観形成と土地利用の整序を図ります。

○自然環境、住宅、店舗、農地、案内サインなどを景観形成の要素として捉え、良好な景観形成を図ります。



伊勢インターチェンジ周辺

### 伊勢西インターチェンジ広域ゲート



実現する「都市づくりの目標」

交流  
交歓

歴史  
文化

自然  
風土

活力  
成長

日常  
生活

安全  
安心

○外宮・内宮連絡軸と結節するということを活かし、外宮・内宮への自動車交通の玄関口となるインターチェンジ周辺において、良好な景観形成と土地利用の整序を図ります。

○自然環境、住宅、店舗、農地、案内サインなどを景観形成の要素として捉え、良好な景観形成を図ります。



伊勢西インターチェンジ

### (3) 広域交流拠点

○広域都市圏での広域交流拠点として位置づけ、教育・文化・レクリエーション活動の充実を図ります。

実現する「都市づくりの目標」

交流 交歓	歴史 文化	自然 風土	活力 成長	日常 生活	安全 安心
----------	----------	----------	----------	----------	----------

#### 宇治山田港広域交流拠点



- かつて海運や造船業が発展し栄えた宇治山田港を、伊勢市の海の玄関口として、船参宮や勢田川の舟運などの拠点機能、マリーナやボートパークなど港と水辺の環境を活かした集客機能及びレクリエーション機能などを備えた広域交流の拠点として位置づけます。
- 海洋交流拠点として整備すると同時に、地場産業の振興、防災機能の強化を進めます。



宇治山田港

- 宇治山田港
- 伊勢湾・勢田川歴史文化交流軸
- 伊勢湾岸（<sup>かみやしろ</sup>神社海の駅）

#### 【宇治山田港広域交流拠点整備構想】

市民や訪れる人々がふれあい、あまねく人々を癒す「みなとまちづくり」の活動拠点として提言



出典：「宇治山田港湾整備（みなとまちづくり）に向けての提言 フォローアップ<修正版>（H22.11）」  
（宇治山田港湾整備促進協議会※）

※宇治山田港湾整備促進協議会(平成11年8月設立)は、国・県・市その他関係機関と地元で組織されています。  
上記の提言に基づいて、船を活用した地域振興、プレジャーボート対策などを中心とした港整備のための調査研究、要望活動、地域間交流の支援等に取り組んでいます。

## 朝熊山麓広域交流拠点



- 県営サンアリーナを中心として、広域的な集会、スポーツ、レクリエーション、情報発信などを行う広域交流拠点として位置づけます。
- 県営サンアリーナと連携し、コンベンション機能の充実を図ります。
- 県が都市計画区域マスタープランにおいて位置づけている伊勢志摩広域防災拠点として、非常時の避難場所、救援活動の拠点としての機能を充実させます。



朝熊山麓公園

- 伊勢志摩地域を視野に入れた憩いの場、レクリエーション活動の場として、朝熊山麓公園の充実を図ります。
- 遊歩道、修景池、展望台を整備した「絆の森」を訪れる人が自然と親しめる里山として活用します。



県営サンアリーナ

- 朝熊山麓公園
- 県営サンアリーナ
- 絆の森
- 伊勢フットボールヴィレッジ

## 倉田山広域交流拠点



- 倉田山の豊かな緑と皇學館大学周辺の教育・文化施設を一体として、落ち着いた環境と風格を備えた広域交流拠点として位置づけます。
- 文化的な広域交流拠点として整備すると同時に、周辺の自然環境の保全を進めます。
- 多様な芸術作品の展示を行う芸術の森として整備します。
- 散策ルートや歩行ネットワークを整備し、人と自然が共生する森づくりを目指します。



神宮美術館

- 倉田山公園
- 神宮徴古館
- 神宮農業館
- 神宮美術館



倉田山公園



神宮徴古館



神宮農業館

## (4) 観光交流拠点

○伊勢の重要な産業である観光を支える観光交流拠点として位置づけ、歴史を活かしたまちなみ景観の形成、市民主体のイベントやまちづくり活動の推進による賑わいの創出、施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインの採り入れなど、観光交流拠点としての充実を図ります。

実現する「都市づくりの目標」



### 内宮おはらい町観光交流拠点



- 内宮の鳥居前町としてまちなみを再生したおはらい町を中心として、商業・歴史文化・観光サービス機能を備えた観光・交流の拠点として位置づけます。
- 伊勢市景観計画に基づき、良好な景観の保全と形成を図ります。
- 自動車交通の増加に対応し、拠点としての集客力を高めるため、市営駐車場の適切な運営を継続するとともに、臨時駐車場を開設し、交通対策を図ります。

- 内宮おはらい町のまちなみ
- 宇治浦田交通広場
- 内宮



内宮おはらい町

実現する「都市づくりの目標」



### 二見町茶屋地区観光交流拠点



- 二見浦・表参道を中心に木造旅館や商店等による歴史的まちなみが形成されている二見町茶屋地区と風光明媚な二見浦を含む一帯を、歴史文化を活かした観光・交流の拠点として位置づけます。
- 夫婦岩から続く海岸沿いの松林など、自然景観の保全を図ります。
- 伊勢市景観計画に基づき伝統的意匠を有した建築物の保全・継承に努め、良好な景観の保全と形成を図ります。

- 二見町茶屋地区のまちなみ
- 地域交流拠点（二見）
- 二見浦交通広場
- 賓日館
- 二見浦



二見町茶屋地区

## (5) 歴史文化交流拠点

○地域の歴史文化を伝えるまちなみや施設を歴史文化交流拠点として位置づけ、地域でのまちづくり活動や情報発信の推進を通じて次世代への歴史文化の継承を図ります。

実現する「都市づくりの目標」



### 河崎歴史文化交流拠点



- かつて勢田川の水運を活かして問屋街として栄えた河崎地区を、伊勢市の歴史文化とまちなみを伝える交流拠点として充実を図ります。
- 伊勢河崎商人館を大きな拠点として位置づけ、地域住民による歴史文化を活かしたまちづくり活動を支援します。
- 住環境の改善も視野に入れながら、景観計画に基づくまちなみ保全などの良好な景観の形成や、河川敷の活用を進めます。
- まちなみの保存と再生を目指した調査・学習活動などを促進し、具体的なまちづくり事業や制度等の導入を進めます。



河崎商人館

- 河崎のまちなみ
- 伊勢河崎商人館
- 伊勢湾・勢田川歴史文化交流軸
- 河川（勢田川、河崎川の駅）

### 【河崎歴史文化交流拠点整備構想（案）】

河崎歴史文化交流拠点整備について、河崎のまちづくり全体計画、伊勢河崎商人館の活用方針などを示した。NPO 法人伊勢河崎まちづくり衆を中心として、市、専門家等を加えた「河崎まちなみ拠点整備計画検討会」が、2000（平成12）年3月に作成した。

#### ○まちづくり全体計画の目標

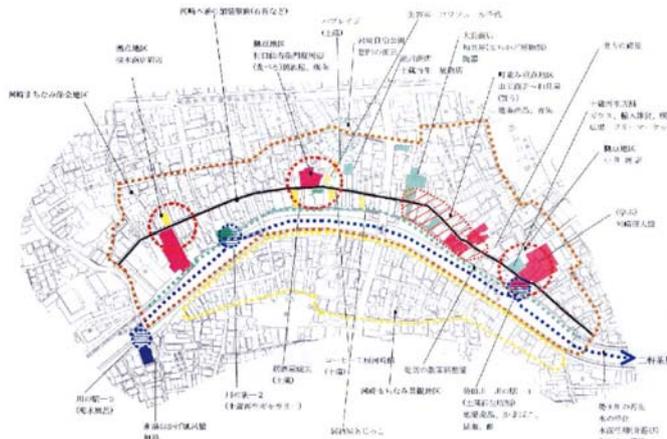
1. 歴史と地域資源をいかしたまちづくり（勢田川をいかしたまちづくり など）
2. 快適な住環境づくり（災害に強いまちづくり、衛生的なまちづくり、安全で快適なまちづくり）
3. 住民主体の自治まちづくり（まちづくりに関する計画づくりと実践への主体的参加、まちづくりに関する情報の収集と発信、まちづくりコミュニティの醸成）

#### ○まちづくり全体計画の施策

川沿い景観の修景/川の駅・船着場の整備/町並み保全地区などの指定と空蔵・空家の再生/道路と交通の整備/河川・水路等の浄化、整備など

#### ○伊勢河崎商人館の活用方針

1. 文化活動の場としての活用
2. 交流の場としての活用
3. 商業活性化の拠点としての活用
4. 町並み整備、住環境づくりを推進する拠点としての活用
5. 河崎まちづくりセンターとしての活用



河崎まちづくり全体基本構想図（案）

## 山田奉行所歴史文化交流拠点



○2005（平成17）年にオープンした山田奉行所記念館は、1845（弘化2）年にほぼ全焼した山田奉行所を、翌1846（弘化3）年に新築したときの図面「新造小林役所之図」などに基づき、書院、お白州などその公的部分の一部を復元した施設であり、歴史的文化交流拠点として充実を図ります。



山田奉行所記念館

■山田奉行所記念館

## (6) 市民交流拠点

○市民の憩いの場や、災害時の避難場所など、市民生活の充実のため公園や公共施設を市民交流拠点として位置づけ、機能の充実を図ります。

### 市民交流拠点



○生涯学習、スポーツ・レクリエーション、福祉などの生活サービスを提供し、市民がゆとりや安心、憩いといった「共生都市」としての豊かさを実感できるような交流拠点として充実を図ります。

○災害時の避難所や救援活動の拠点として地域防災計画において位置づけている施設（※）については、その機能の充実を図ります。

（※）避難所に指定：大仏山公園、いせトピア

自衛隊など応援部隊の活動拠点：五十鈴公園、大仏山公園

- 五十鈴公園
- 大仏山公園
- いせトピア
- 伊勢図書館周辺
- 宮川ラブリバー公園
- 宮川親水公園
- 宮川堤公園
- 宮川河川敷公園



五十鈴公園



大仏山公園



伊勢図書館周辺



いせトピア（生涯学習センター）

## (7) 防災拠点

○日常的な防災学習の場や、大規模災害時の応急対策の中心拠点として位置づけ、防災機能の充実を図ります。

### 倉田山防災拠点



実現する「都市づくりの目標」

交流  
交歓

歴史  
文化

自然  
風土

活力  
成長

日常  
生活

安全  
安心

○平常時には防災学習の場としての充実を図ります。

○災害時には、倉田山公園は津波緊急避難所並びに自衛隊、海上保安庁、警察及び消防機関等救助機関受入れの拠点として、また防災センターは市役所庁舎が損壊して利用できなくなった場合の災害対策本部の第2司令塔として、伊勢市地域防災計画に位置づけています。また市立伊勢総合病院は、災害拠点病院（市内においては伊勢赤十字病院）を支援し、補完する機能を担う災害医療支援病院として三重県により位置づけられています。災害時、これらの位置づけに基づく応急対策が十分に行えるよう、防災拠点としての機能維持・強化を図ります。

■伊勢市消防・防災センター

■倉田山公園

■市立伊勢総合病院



消防・防災センター



市立伊勢総合病院

## (8) 産業創造拠点

○自動車による交通アクセスに恵まれ土地資源がまとまった地域及び現在産業系施設が集積している地域を産業創造拠点として位置づけ、周辺的环境に配慮しつつ、新たな産業機能の集積や現在の機能の維持・強化を図ります。

### 朝熊山麓産業創造拠点



実現する「都市づくりの目標」

交流  
交歓

歴史  
文化

自然  
風土

活力  
成長

日常  
生活

安全  
安心

- 伊勢市産業支援センターは、地域産業を育成するために、企業支援、新分野進出、経営革新を促進します。
- 産業系施設が集積するこの地域を伊勢の産業の中核地域として、産業の活性化と雇用の創出を図ります。

■サン・サポート・スクエア伊勢



伊勢市産業支援センター

### 下野産業創造拠点



実現する「都市づくりの目標」

交流  
交歓

歴史  
文化

自然  
風土

活力  
成長

日常  
生活

安全  
安心

- 産業系施設が集積する下野工場団地について、機能維持・強化を図ります。

■下野工場団地



下野工場団地

## (9) 公立小中学校

○子どもの教育のために不可欠な施設であり、地域コミュニティの中心施設、災害時の防災拠点等の役割を担う拠点として位置づけます。

実現する「都市づくりの目標」



### 公立小中学校

○伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画（2017（平成29）年3月修正版）に基づき、必要に応じて順次整備を進めます。

- 有緝小学校
- 厚生小学校
- 浜郷小学校
- 城田小学校
- 小俣小学校
- 明野小学校
- 御菌小学校
- みなと小学校（神社・大湊小学校）
- 厚生中学校
- 倉田山・五十鈴中学校
- 小俣・城田中学校
- 桜浜中学校（豊浜・北浜中学校）
- 伊勢宮川中学校（宮川・沼木中学校）



有緝小学校



厚生中学校



厚生小学校



伊勢宮川中学校



桜浜中学校

## (10) 自然共生拠点

○豊かな自然とふれあえる地域を自然共生拠点として位置づけ、レクリエーション機能の充実や景観の保全を図ります。

実現する「都市づくりの目標」



### 南部自然共生拠点



○横輪町の活性化を目的とした直売施設「郷の恵『風輪』」や、地域の歴史を今に伝えている久昌寺などを中心として、南部丘陵地域の自然とのふれあいを通じた学び、憩いの拠点としての充実を図ります。

○自然と共生する景観の保全に努めるとともに、情報発信を促進します。

- 横輪・矢持地区  
(郷の恵「風輪」  
久昌寺等)



郷の恵「風輪」



久昌寺

実現する「都市づくりの目標」



### 朝熊山頂自然共生拠点



○朝熊山頂の展望台や、歴史上お伊勢参りの重要な拠点であった金剛證寺周辺を中心として、伊勢志摩国立公園の豊かな自然や優れた眺望を体感することができる拠点としての充実を図ります。

○伊勢志摩国立公園の豊かな自然景観と、伊勢市内のみならず伊勢志摩地域を一望できる良好な眺望の保全を図ります。

- 朝熊山頂展望台
- 金剛證寺



朝熊山頂からの眺望



金剛證寺

## (11) 外宮・内宮・二見浦

○豊かな自然と歴史文化を伝え、伊勢の都市骨格形成の中核的な役割を担う拠点として位置づけます。

実現する「都市づくりの目標」



### 外宮・内宮・二見浦 (外宮は山田都市交流拠点内)



○伊勢志摩地域の成立や歴史文化の中核である外宮・内宮・二見浦は、周辺環境や景観の保全を図り、次世代への継承を目指します。

- 外宮
- 内宮
- 二見浦



外宮



内宮



二見浦